

鯖江市の
人と生きもののふるさとづくり
マスタープランの挑戦
～鳥獣害対策で地域政策を拓く～



鯖江市鳥獣害のない里づくり推進センター
所長 中田 都

本気になる

長続きの秘訣は

リーダーの存在
合意形成
多様な人の参加

あきらめる



地域政策として 対策をすすめるためのポイント

- 1 組織合意
- 2 順応的に管理すること
- 3 負担を分散すること



中田 都

今年度はクマの大量出没の対応で
年末年始もてんやわんやしていました



7



伴走型担当職員の理想像

- 1 動物種を見分けられる
- 2 動物の痕跡（被害、足跡、糞）を見分けられる
- 3 法律的根拠を理解している
- 4 被害防除（電気・ネット）柵を取り扱える
設置指導ができる、突破箇所の判別ができる
- 5 サルのテレメトリー調査ができる
- 6 住民の合意形成の場づくり



中田 都

福井県鯖江市役所
鳥獣害のない里づくり推進センター所長
農林水産省野生鳥獣被害対策アドバイザー
鯖江市鳥獣被害対策実施隊/捕獲隊



8



世界に誇れる技術力 「ものづくりのまち」

眼鏡産業

「眼鏡フレーム」の国内製造シェア
約9割を誇る眼鏡産業の産地



繊維産業

ナイロン、ポリエステル等
の合繊を中心とした産地



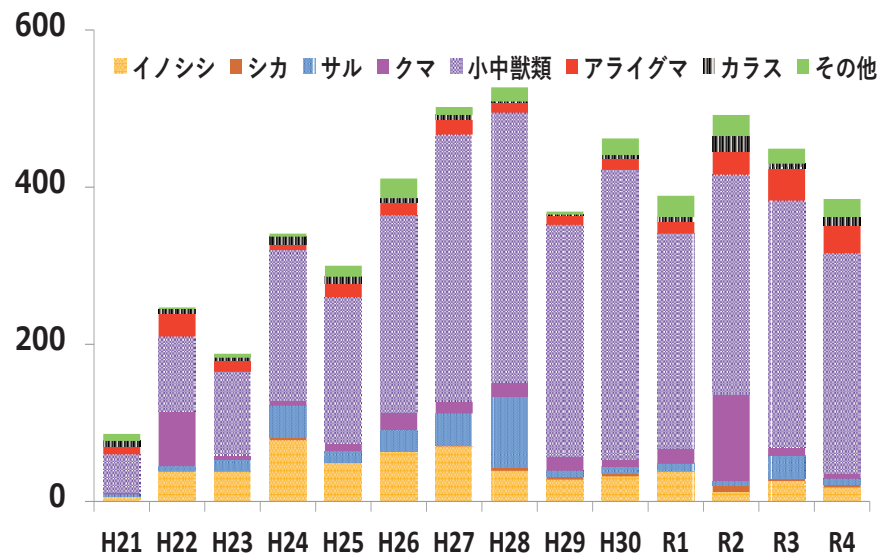
漆器産業

約1500年の歴史と伝統
を有する越前漆器の産地





市民からの相談・通報件数の推移（獣種別）
平成21年4月1日から令和5年3月31日まで



今日のお話し

- 1 鯖江市のマスタープランについて
- 2 具体的な取り組みとその効果
- 3 現状の課題とこれから

人と生きもののふるさとづくり
マスタープランについて
策定のきっかけ



2004（平成16）年 福井豪雨災害発生



復旧作業とクマとイノシシの出没



ぺったんこ 復旧作業とクマとイノシシの出没でヘトヘト

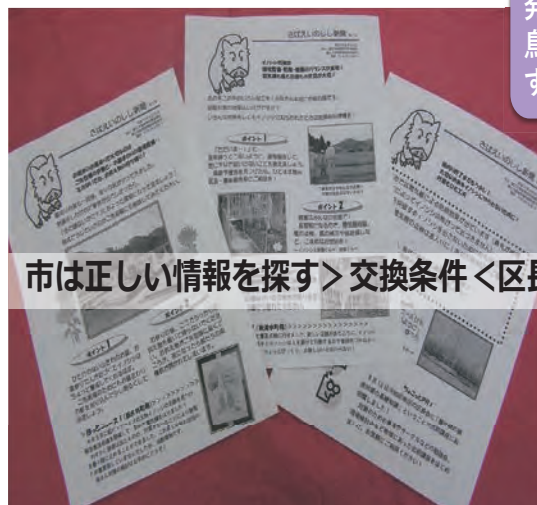
2005（平成17）年8月31日 鯖江市東清水町

2005（平成17）年 市長と語る会で河和田地区区長会からの要望



区長会の勉強会

2005（平成17）年 いのしし新聞誕生



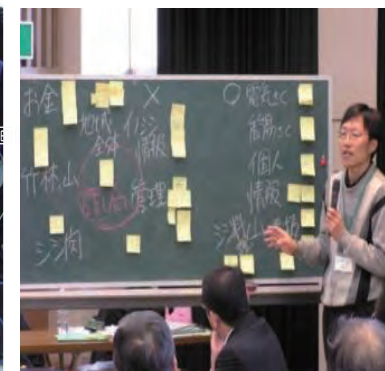
発行目的：
鳥獣害対策を地域住民みんなが実践
するために正しい情報を伝える

市は正しい情報を探す＞交換条件＜区長はがんばって伝える



2006（平成18）年3月 鳥獣害対策リーダー育成研修会

- ・イノシシの生態・柵の効果的な設置
- ・人(里)と獣(山)の住み分けの重要性
- ・必要なのは話し合い



研修会と情報共有は非常に効果があった

【良かったこと】

- ・ 集落ぐるみの鳥獣害対策は浸透した
- ・ 集落リーダーは育った

【課題】

- ・ イノシシの生息域が広がり、地域ニーズが高まるが、職員多忙で、丁寧に付き合えない
- ・ 次々初心者が来て研修のレベルが定まらない

多様化する 市民ニーズ

多様化する 市民ニーズ

集落を超える
リーダー育成
取り組みの明文化
目標に向かって計画的に

そのころ鯖江市では

「鯖江市民憲章」
1990（平成2）年

「鯖江市市民活動による
まちづくり推進条例」
2003（平成15）年

市民ニーズは多様化、
複雑化
行政だけで全ての
公共サービスを
担うことは困難な時代



1月16日はふるさと鯖江の日 みんなでつくろう みんなのさばえ



2020（平成22）年 市議会からの提案 鯖江市民主役条例制定

鯖江市民主役条例

4つの基本理念

- 1 わたしたちは、まちづくりの主役は市民であるという思いを共有し、責任と自覚を持って積極的にまちづくりを進めます。
- 2 わたしたちは、まちづくりの基本は人づくりであることを踏まえ、それぞれの経験と知識をいかし、共に学び、教え合います。
- 3 わたしたちは、自らが暮らすまちのまちづくり活動に興味、関心を持ち、交流や情報交換を進めることで、お互いに理解を深め、協力し合います。
- 4 市は、協働のパートナーとしてまちづくりに参加する市民の気持ちに寄り添い、その意思を尊重するとともに、自主自立を基本とした行政運営を進めます。

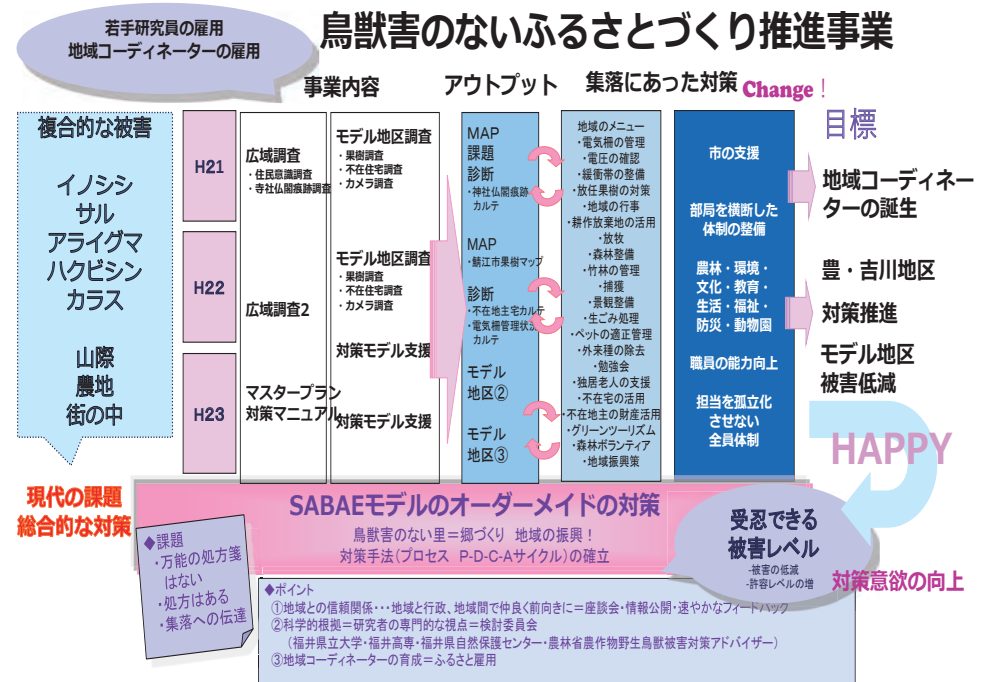
鯖江市民主役条例 4つの基本理念

主役は市民

まちづくりの基本は
人づくり

交流や
情報交換

協働の
パートナー



人と生きもののふるさとづくり マスタープランの策定 プランの概要



鳥獣被害のないふるさとの実現



市民・市民団体、事業者、行政、専門家が、それぞれに協働し、何をどのように取り組めばよいかを明文化



第1次
2012年
直球の対策



第2次
2017年
楽しみな対策



第3次
2022年
持続可能な対策

新たな
挑戦！

基本理念

「野生鳥獣と人との共存」

「鳥獣被害対策を通じた活力ある地域づくり」

基本方針

市民主役で取り組む 地域ぐるみの鳥獣被害対策

鯖江市民の地域への高い参加意欲を活かして、
自ら取り組み考えて行動できる市民による対策を進めます。

【目標】5年後（令和8年度）の
鳥獣被害に対する認知度

100%

を目指す。



基本理念：

「野生鳥獣と人との共存」

「鳥獣被害対策を通じた活力ある地域づくり」

基本方針：

市民主役で取り組む地域ぐるみの鳥獣被害対策

鯖江市民の地域への高い参加意欲を活かして、自ら取り組み考えて行動できる市民による対策を進めよう



基本施策：

人と生きもののふりさとづくりを進めていくために

鳥獣被害への市民の理解を深める

「野生鳥獣と人との共存」

を実現するための行動は

きちんと守る



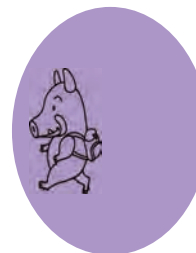
「鳥獣被害対策を通じた活力ある地域づくり」

を実現するための行動は

対策仲間を増やす



市民アンケート結果



住民意識調査 3次 2021年

<調査目的>

野生動物に関する鯖江市民の意識、関心や知識レベルおよび
鯖江市行政に対する認識の把握

<調査時期・調査対象>

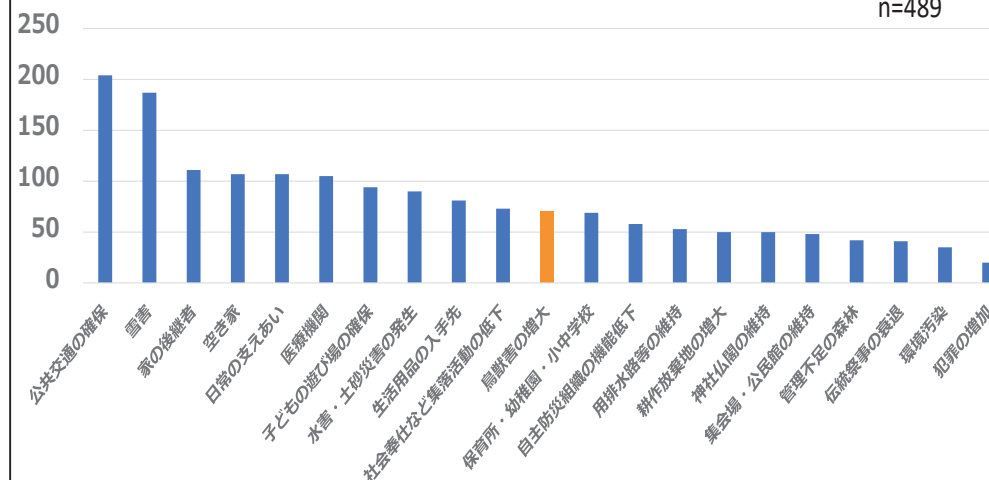
- 実施時期：令和3年4月23日～6月8日（告知締切4月30日）
 - 調査対象：市民1,000名(20歳以上、日本国籍のみ無作為抽出)
 - ・ 地区間の違いに着目し、市内10地区から各200名を抽出
- ※ 結果は市全体の単純平均ではない ことに留意

<回収率>

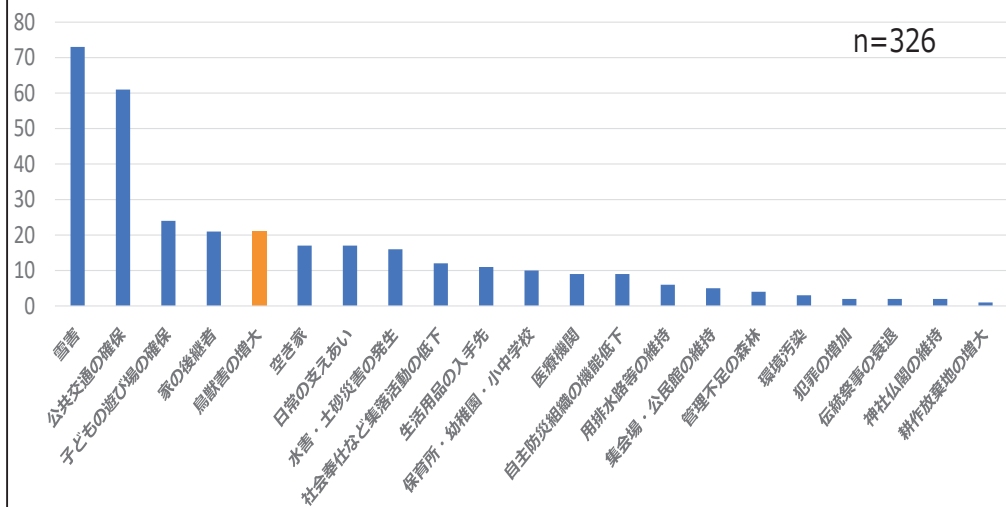
○対象者数：1,000名 ○回収数：503通 ○回収率：50.3%

問14 あなたがお住いの町内（自治会）が
今後30年元気でいるために、乗り越える必要がある
課題は何ですか（複数回答）

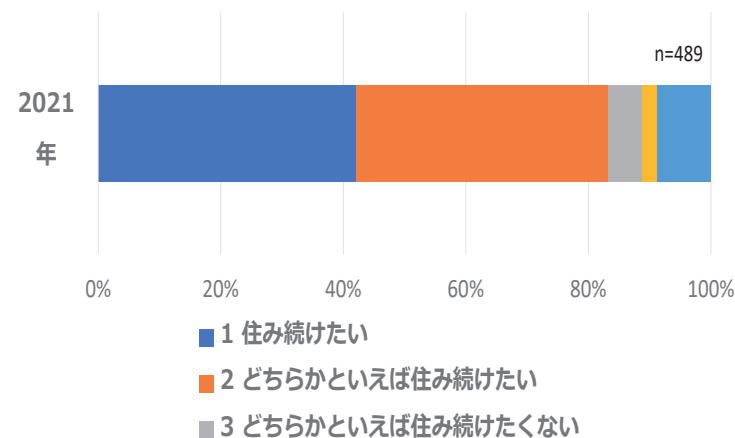
n=489



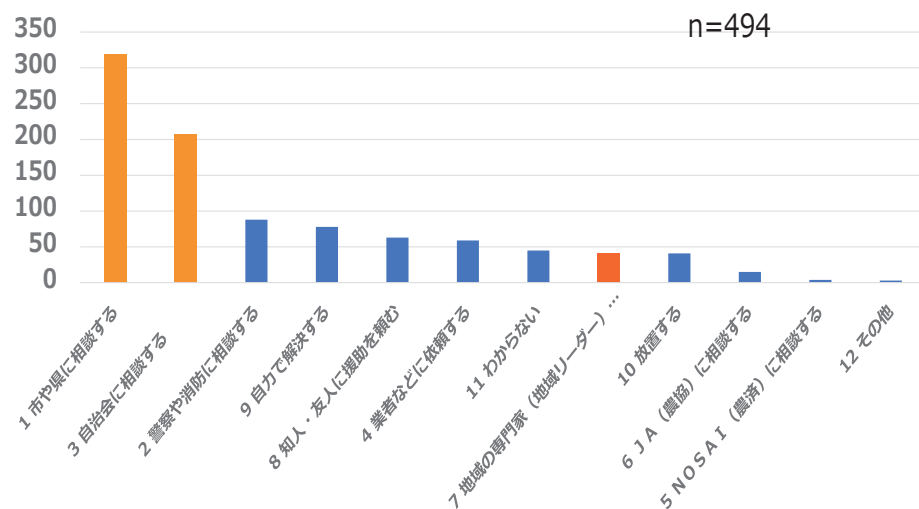
問15 あなたがお住いの町内（自治会）が
今後30年元気でいるために、乗り越える必要がある
課題は何ですか（特に困っているものひとつ）



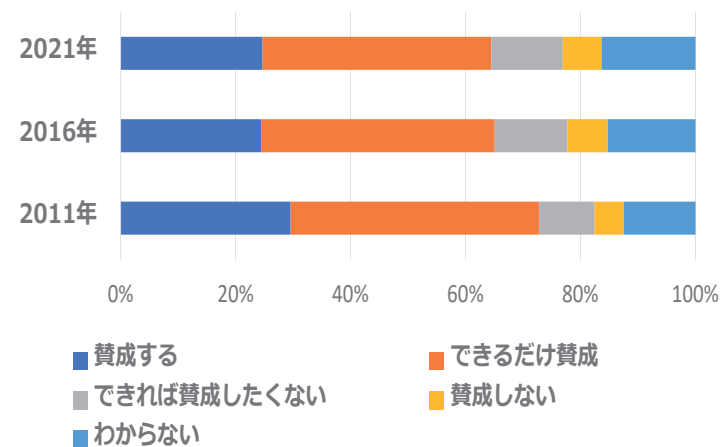
問13 この地域に今後も住みたいと思いますか



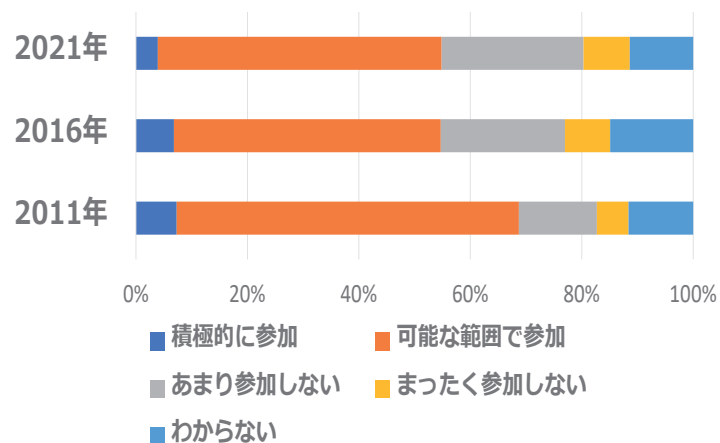
問5 もし鳥獣害があなたのまわりで発生したら、
どのように解決しますか？



問6 町内（自治会）全体で年に3～4回、半日程度、鳥獣害
対策の共同作業を行うことが町内（自治会）で決められようとした
場合、あなたは賛成しますか？



問7 町内（自治会）全体で年に3～4回、半日程度、鳥獣害対策の共同作業を行うことが町内（自治会）で決められようとした場合参加しますか？



第三次プラン改定のポイント

•多様な地域課題の存在

多様な地域課題と一緒に取り組む鳥獣被害対策

•協働活動の参加意欲の低下が問題

地域の協働力の低下に対してどう取り組むか

•住み続けたい人が多い

理由はいかにせよ住みたい人がいる

このマンパワーを活かせないか



人と生きもののふるさとづくり
マスタープランの策定
プランの具体的な取り組み

市民理解
を深める

きちんと
守る

対策仲間
を増やす

プランの具体的な取り組み さばえのけものアカデミー



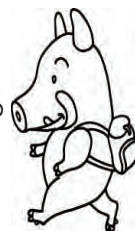
主体的な学び

集落を超えて
活躍できる
リーダーを育成
したい



さばえのけものアカデミー

- **けもの気持ち**がわかります。
- けもの対策のための**スキル**が身につきます。
- **主体的な学び**のすばらしさを実感できます。
- 立場の違う参加者のおかげで**多様な視点**に気づけます。
- とにかく**フィールド**に出たくなります。



さばえのけものアカデミー

総論

- 1 鳥獣害対策の現状と対策の基本的な考え方
- 2 法的背景

各論

- 1 野生鳥獣のことを知る（理解している）
- 2 害を出す野生鳥獣のエサや隠れ家を減らせる（見分けられる）
- 3 害を出す野生鳥獣から囲いや追い払いで集落を守る
- 4 害を出す野生鳥獣を捕まえられる（利用できる）
- 5 鳥獣被害対策に関する**情報を正しく収集・分析・伝達できる**

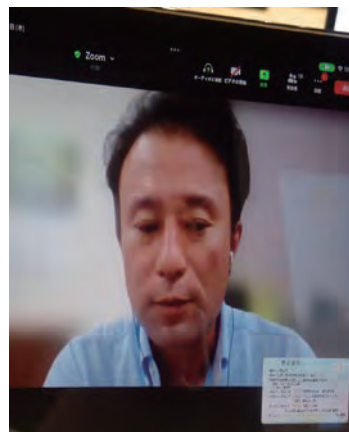
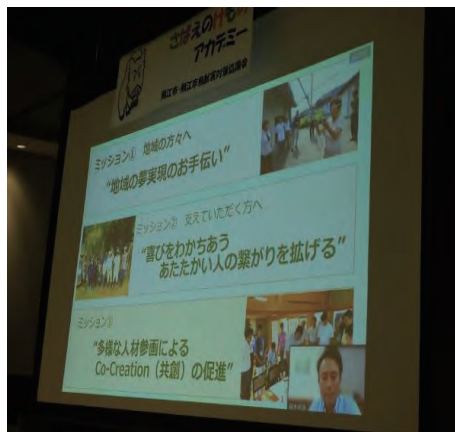
現地実習（電気柵設置と管理、解体処理と利用、集落点検、）
意見交換



第11期1回目「多様な主体で取り組む鳥獣がい対策」

2022年6月30日 鯖江公民館3階ホール

講師 鈴木克哉さん



第11期2回目「中型哺乳類の生態と対策」

2022年7月9日 鯖江公民館3階ホール/小黑町八幡神社

講師 古谷益朗さん



第11期3回目

「家庭菜園を守る電気柵設置研修会」

2022年7月10日 福岡農園

講師 古谷益朗さん



第11期4回目 シカの生態と対策

誘引捕獲実践に取り組むための知識 ～シカ痕跡の読み方と誘引～

2022年10月22日 AM吉川公民館

講師 海老原 寛さん



第11期4回目 シカの生態と対策
誘引捕獲実践に取り組むための知識 ～シカ痕跡の読み方と誘引～
2022年10月22日 AM吉川公民館
講師 海老原 寛さん



第11期5回目 サルの生態と対策
「防護柵(おじろ用心棒)でサルに魅力のない集落を作ろう！」
2022年11月20日 和田町稲荷神社付近
講師 鈴木克哉さん

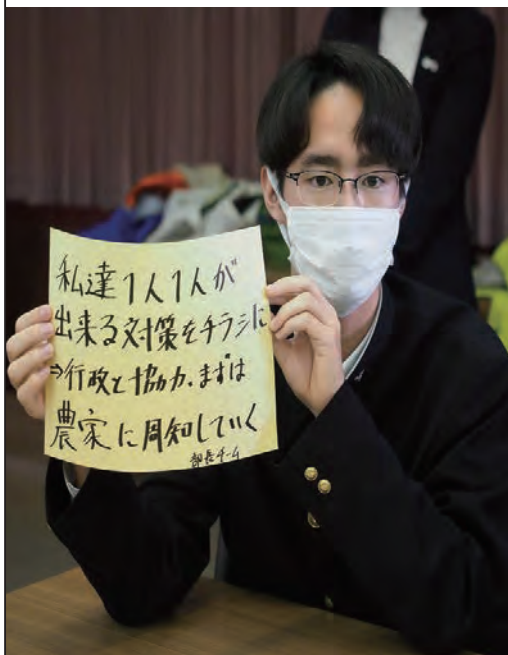


第11期5回目 サルの生態と対策
「防護柵(おじろ用心棒)でサルに魅力のない集落を作ろう！」
2022年11月20日 石生谷町公民館
講師 鈴木克哉さん



第11期6回目
ワカモノ×イタチ×さばえのけもの
高校生と考える鳥獣がい対策
2023年3月25日
市役所4階 全員協議会室

けもの
アイデアソン



第11期6回目
ワカモノ×イタチ×さばえのけもの
高校生と考える鳥獣がい対策

自分の意見をまとめて参加者内で落
としどころを見つける練習

学生には時間が
行政には権限とお金がある



けものアカデミーの成果

139人/11期



けものアカデミーの成果

修了生の意識・意向を調査



さばえのけものアカデミー
修了生に対する意識・意向アンケート調査 【調査の概要】

前回

＜調査期間＞ 平成28年11月21日～12月12日
＜調査対象＞
けものアカデミー1～4期修了生と
5期修了見込み生 **92名**
＜調査方法＞ 郵送、手渡し
＜回収結果＞ **77.2%** (71/92通)
＜意識調査の設問概要＞

- ・受講目的と受講による効果について
- ・受講後のリーダー活動について
- ・今後関わりたいリーダー活動について
- ・リーダー活動をするために
必要な支援について

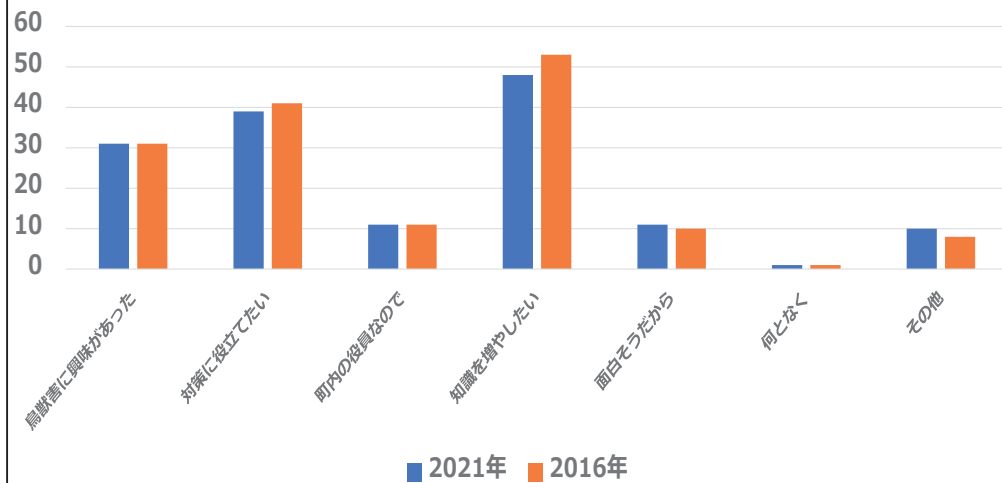
今回

＜調査期間＞ 令和3年4月1日～4月22日
＜調査対象＞
けものアカデミー1～9期修了生124名中**119名**
(1名死亡、4名送付先不明)
＜調査方法＞ 郵送83、手渡し34、メール2
＜回収結果＞ **61.3%** (73通/119通)
調査票提出形態：
郵送 37通/73通 (50.7%)
ロゴフォーム 36通/73通 (49.3%)

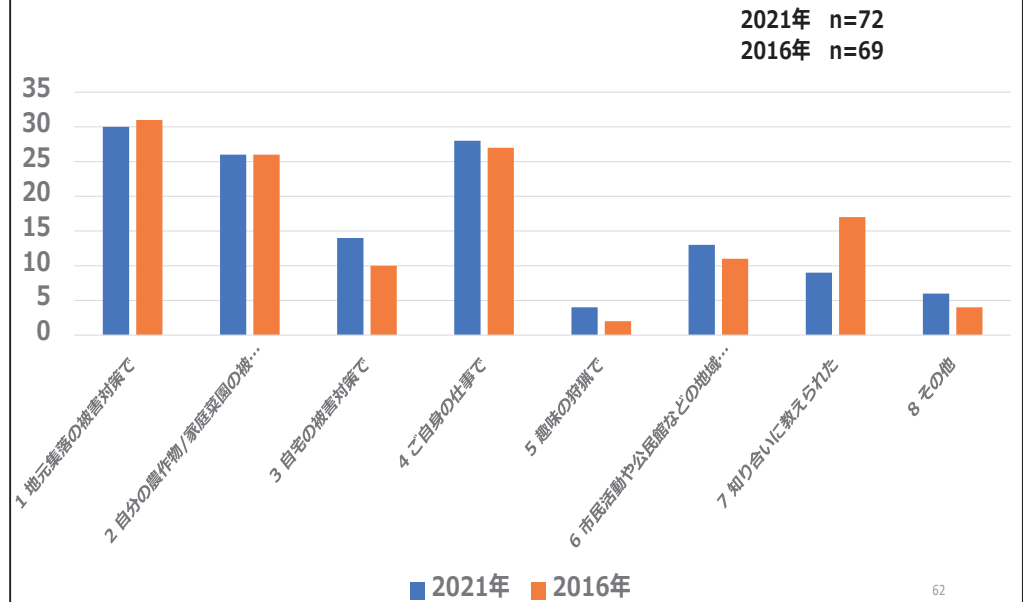
＜意識調査の設問概要＞

- ・受講目的と受講による効果について
- ・受講後のリーダー活動について
- ・今後関わりたいリーダー活動について
- ・リーダー活動をするために
必要な支援について

Q 1 あなたがアカデミーに参加した目的は何ですか



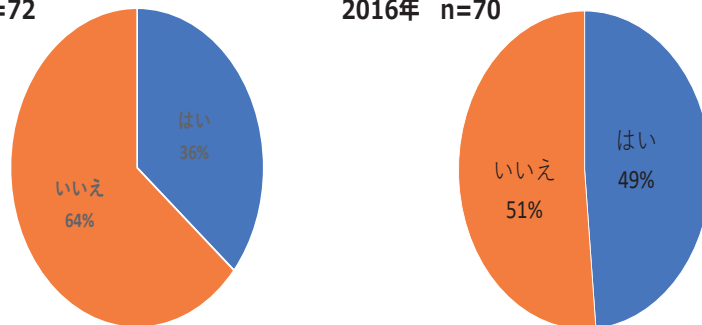
Q 3 アカデミーで学んだ内容は具体的にどのような場面で活かされましたか



Q 5、Q 6 受講後、けものリーダーとして他者に向けての活動はありましたか。活動はどこでされましたか。

2021年 n=72

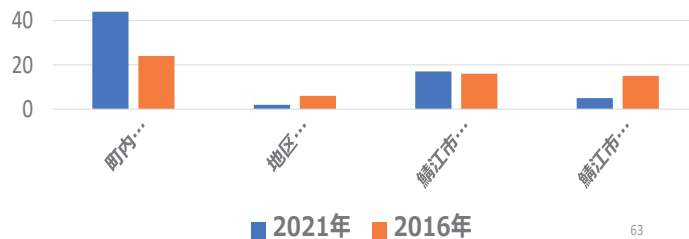
2016年 n=70



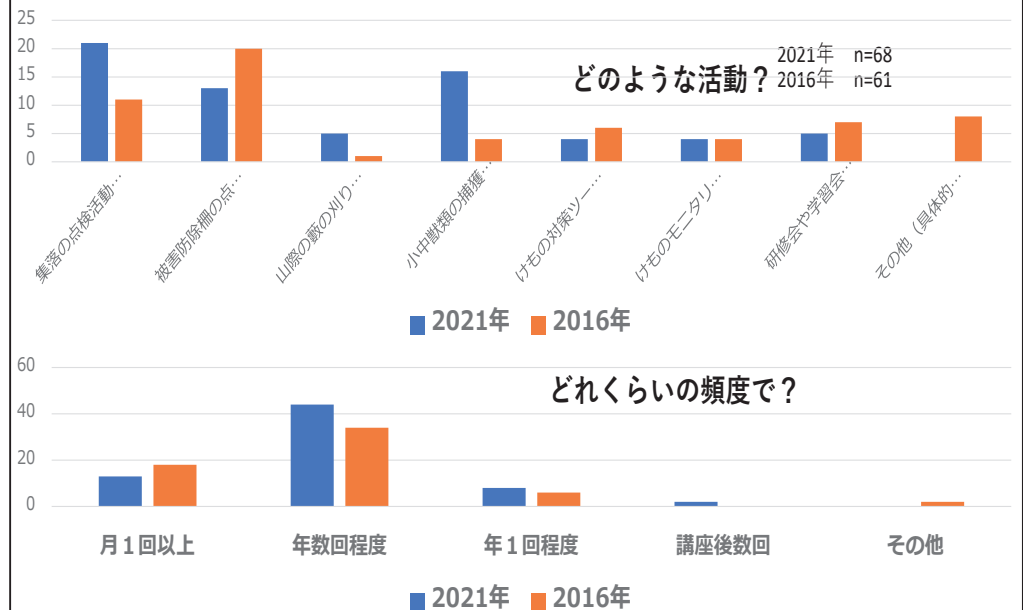
どこで？

2021年 n=61

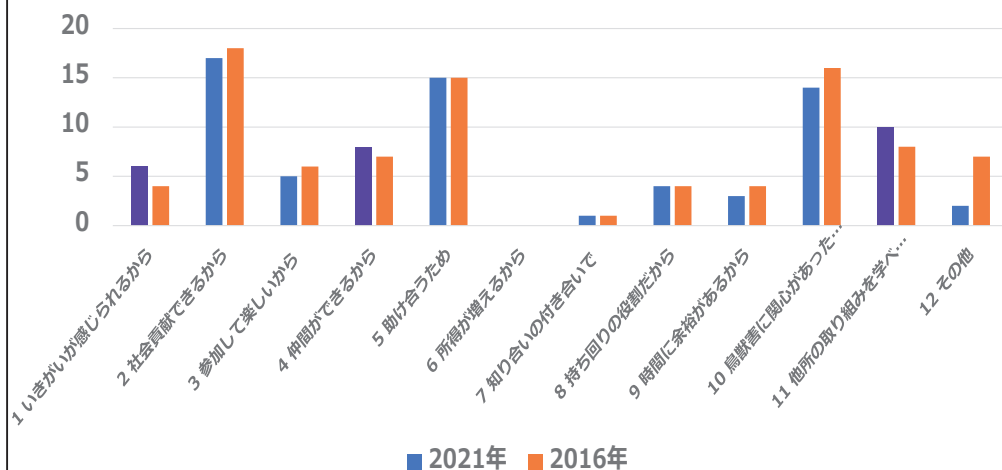
2016年 n=68



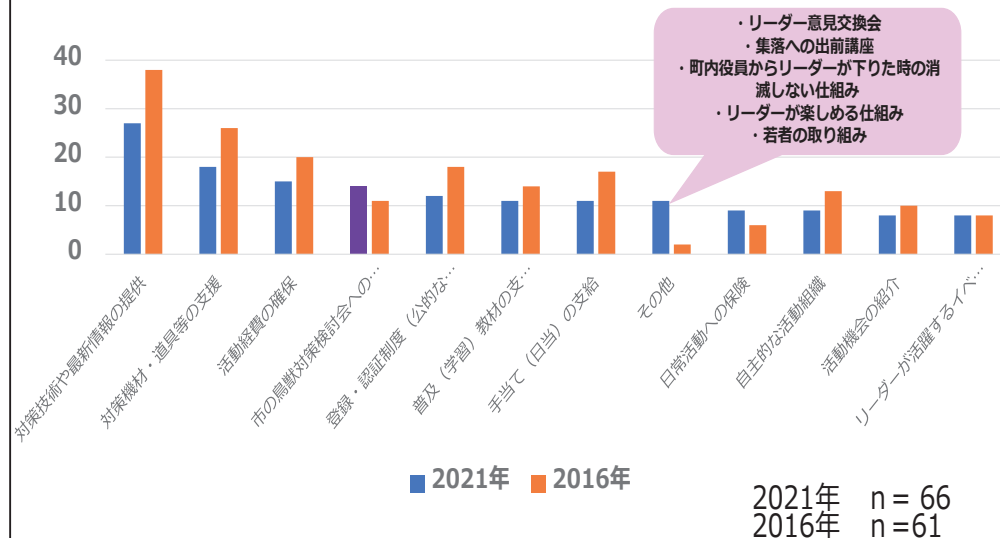
Q 6 けものリーダーとして、どのような活動を・どれくらいされましたか



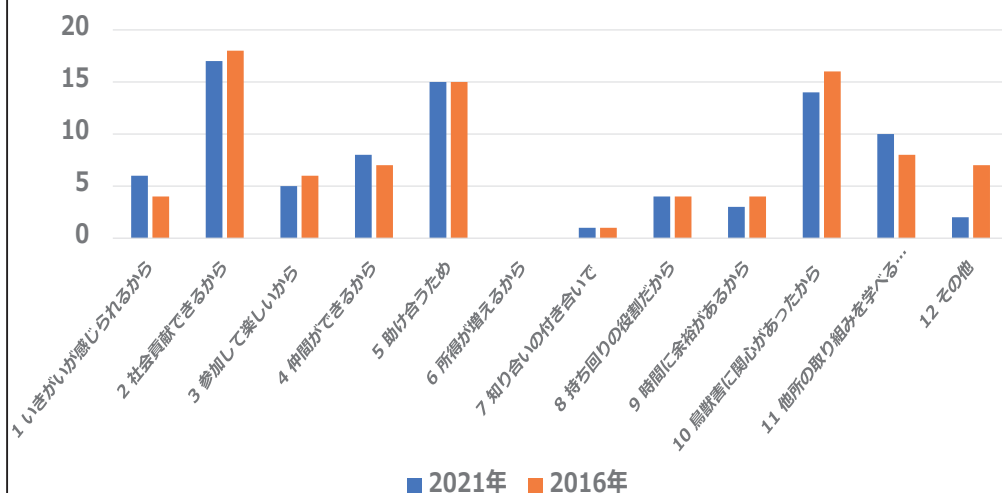
Q7 リーダーとして活動する動機は何ですか



Q9 これからさばえのけものリーダーが円滑に活動していくために、どのような制度・支援が必要だと思いますか



問7 リーダーとして活動する動機は何ですか



ポイント

・さばえのけものリーダーの存在

対策の知識や技術を市民に伝達する重要な役割

・さばえのけものリーダーの施策への参画

活動を促進するための位置づけ

リーダー提案活動の充実

・鳥獣被害対策をきっかけに課題解決

協働意識や地域協働力の高い市民と鳥獣被害対策で協働
 自立的で持続可能な地域が実現



地域リーダーの理想像

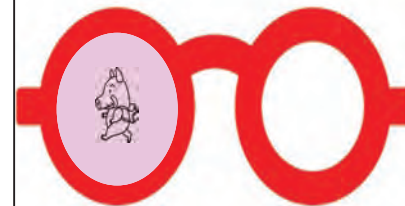
- 1 動物種を見分けられる
- 2 動物の痕跡（被害、足跡、糞）を見分けられる
- 3 電気柵を取り扱える
設置指導ができる、突破箇所の判別ができる
- 4 住民の合意形成の場づくり（傾聴）
- 5 近隣集落や仲間を応援できる

求められるリーダー像：市町サイズ



70

プランの具体的な取り組み
情報交換会 & 交流会



さばえのけもの情報交換会 & 交流会

プランの
推進会議

情報共有
作戦会議

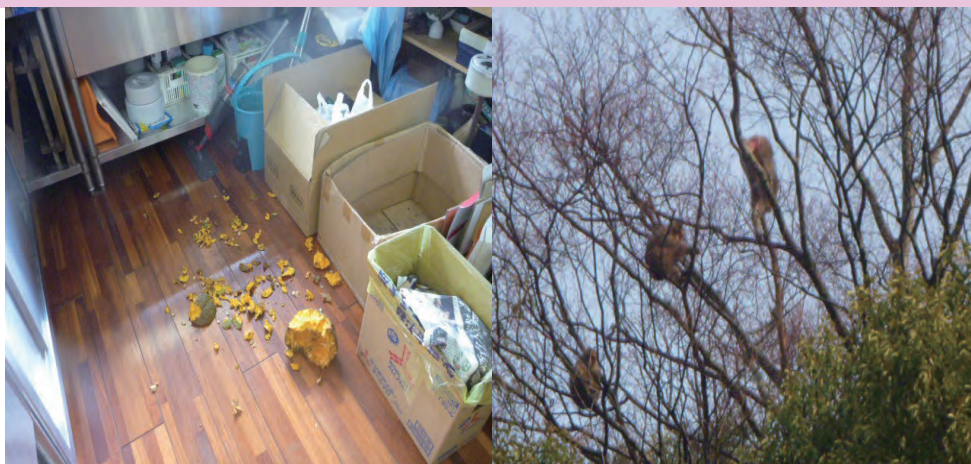
さばえのけもの情報交換会&交流会



プランの具体的な取り組み 里山資源の利活用



市内でサルの被害が深刻化



未利用の
ゆずやハッサク

もぎ切りたい





河和田の山うに
を
鯖江の山うにに
できたら
柚子をもぐかも



老いも
若きも
みんなで
山うに

地元の高齢者サロンで学びあいが始まる



プランの具体的な取り組み けもの対策ツーリズム



人手不足 地域の課題

鳥獣害対策ツーリズム（愛知教育大学）

令和4年10月29日（土）～30日（日）



鳥獣害対策ツーリズム（愛知教育大学）

令和4年10月29日（土）～30日（日）



課題 人事異動の壁





集落ぐるみが、組織を応援

地域リーダーが
応援してくれる
組織づくり



さばえのけものリーダーが職員をサポート

- ・ 獣害対策の**基本的な考え方**が身につきました。
- ・ **電気柵の機能**が伝えられます。
- ・ **けもの痕跡探し**の**スキル**が身につきました。
- ・ **主体的な学び**でけもの対策が**プライド**になっています。
- ・ けもの対策の重要性を意識し、
自分事として**職員をサポート**できます。



組織ぐるみが各組織を応援

近隣自治体と
広域的に補完する
関係をつくる

丹南地域有害鳥獣対策協議会・連絡会・ユニット会議

市町行政の
組織ぐるみの
広域連携

- ・ 丹南5市町での情報共有
- ・ 悩み相談
- ・ 県への重要要望の調整
- ・ 対策連携（サル）



何事も手間がかかる

行政のかかわり方の難しさ

どこまで
支援
するか

住民の
描く
将来像は

共に
考える
には

最近はサルの見守りに先端技術を借りています



やはり3本の柱

市民理解
を深める

きちんと
守る

対策仲間
を増やす

Thank you ! See you soon.

Think globally!

Act locally!



Sustainable Development Goals

SNSで発信させてください



#さばえのけもの



【facebook】



【Instagram】

